

第350号

2018年(平成30年)7月20日
毎月1回20日発行《禁無断転載》

OAライフ

発行所 ㈱OAライフ
〒113-0001 東京都文京区白山1-6-5-105
電話(03)5805-6751(代) FAX(03)5805-6752
発行人 久保哲夫
年間購読料 8,000円(税別、送料込み)
郵便振替口座 00190-8-56986
取引銀行 三菱UFJ銀行春日町支店
みずほ銀行根津支店



ktk はリサイクルトナーでコスト削減支援

業績がV字回復 実働2時間増加 土岐社長戦略語る



土岐社長

トナーカートリッジリサイクルを手掛けるケイティケイ(ktk、名古屋市中東区、土岐勝司社長)の業績が急回復している。カートリッジリサイクル市場は、ゆるやかな縮小傾

向が続いている中で、同社が上場以来初の営業赤字を計上した2015年にスカウトされて代表取締役社長に就任した土岐社長は、翌年の決算で早くも黒字回復し、さらに今年度第2四半期(今年2月)には営業利益・経常利益・四半期純利益で、上場来最高益を計上した。

このような業績のV字回復を実現し、市況の良くないで業績を伸ばす同社の工場改革で、製造原価を下げて品質アップに取り組んだ。工場のラインを見直し、品質向上に努めた結

果、トラブルが減少して、顧客満足度の向上とコスト削減が図れたと、土岐社長。2016年8月には、同社のリサイクル主力工場である連結子会社の(株)アイオーテクノを吸収合併した。

土岐社長は、次いで営業改革に取組み「それまでアナログ営業だったのを、モバイル武装した。全営業社員に最新のタブレット型PCやスマートフォンを貸与しただけでなく、社用車を1人1台専用で使えるようにした。駐車場も、それぞれの自宅近くに月極め駐車を契約して、営業全員がお客様の所へ直行直帰で

果、トラブルが減少して、顧客満足度の向上とコスト削減が図れたと、土岐社長。2016年8月には、同社のリサイクル主力工場である連結子会社の(株)アイオーテクノを吸収合併した。

「第2に、業績をさらに伸ばすために『新規事業』も検討している。グループ企業の青雲クラウンとのシナジーも、もっと増やしたい」と語っている。

総務・人事・経理ワールド2018

リサイクルトナーカートリッジ業界の上場企業であるケイティケイ(ktk)は、リサイクル品「リパクトナー」の活用で60%のコストダウンが図れることをアピールしていた。同社は、①自社工場直送による直販価格、②全国19拠点の営業力、③業界トップレベ

ルの高品質、④上場企業の信頼、の4つを強みにしている。顧客の事例として、私立病院で年間約4500万円のコストダウンなど、「リパクトナー」の効果を表していた。顧客数は、数千社にのぼる。

(7面下段)

(5面左上)